

平成30年度

事業計画書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

学校法人 亜細亜学園

学校法人亜細亜学園は、平成30年度事業計画を以下のとおり策定する。

## 1. 基本方針

本学園は、創立75周年を迎えた平成28年に、建学の使命及び建学の精神に基づき「亜細亜大学中長期計画ーアジア未来マップ2025」を策定し、ミッション「多様な夢に挑み、アジアの未来に飛躍する創造的人材の育成」を実現するための4つのビジョンを掲げ、更に5つの重点行動施策に基づく3カ年中期行動計画を策定して、その実現に取り組んでいる。

平成30年度は3カ年中期行動計画(第1期)の最終年度であり、同行動計画を推進し、進捗状況と活動実績等を評価した上で、更に本学園の強みを強化し充実させていくために、平成31年度を初年度として始まる第2期3カ年中期行動計画を策定する重要な年となる。

2018年問題といわれる18歳人口の減少期を控えた平成30年度入試においては、3カ年連続で延べ志願者数を増加させることができたものの、厳しい状況は続いていくことは明らかである。

今後、継続的発展を考えた将来の構造改革に着手するためには、定員管理の厳格化は必須であり、教育の質向上の取り組みを更に進めて、学修成果の可視化を図るなどの3カ年中期行動計画実現の基盤として、教育活動収支を健全な状態に安定させることが重要である。

## 2. 平成30年度重点項目 ー重点行動施策への具体的な取り組みー

### (1) 国際化施策

「アジア交流の拠点となる」というビジョンに沿って、本学の強みの一つである国際化教育を推進する。

#### ① 留学プログラムのリニューアルと留学支援の強化

##### a AUAPリニューアルプログラム確定とAUAP30周年事業

留学を更に充実させるためのリニューアルプログラムの確定とともに、平成31年度からの収支均衡を実現する。

併せてAUAP30周年事業を行い、AUAPの成果を内外に発信する。

##### b ASEAN諸国を中心とした留学生教育の充実

ASEAN諸国留学生奨学金制度の下、専用カリキュラム(ASEAN-JAPANプログラム)により、更に充実した留学生教育を行う。

##### c 1年間海外派遣留学生の4年間卒業可能な環境整備

1年間海外留学をした場合でも4年間で卒業できる環境整備を年度内に進める。

#### ② アジア研究のトップ大学を目指し、アジア研究所創立50周年記念事業の一つとして、大連外国語大学との共同研究プログラムを進める。

### (2) 教育・研究活動施策

「学生の『個性値』を伸ばす」というビジョンに基づき、「教育の亜細亜」を目指し、

- 学生一人一人に向き合う教育を充実させる。
- ① 3つのポリシー（学位授与方針、カリキュラム編成方針、入学者受入れ方針）に沿った教育活動を進め、その成果を点検・評価し、改善を行うPDCAサイクルを回す。
  - ② 教育活動の質の向上
    - a 学生の主体的学修時間を増加させる取り組みを進め、平成29年度（約8時間／週。予習・復習時間3時間、課外講座・就職対策5時間の合計）比50%増を実現する。
    - b 教養教育の高度化を進める。  
「スポーツ科学」プログラムを開講するとともに、共通教育カリキュラム検討会議のもとで、他の分野における高度化への検討を開始する。
    - c 授業科目（コマ数）のスリム化を引続き進める。  
スリム化に関するガイドラインに従い、全体の科目（コマ数約4,000コマ）の2割（800コマ程度）減を実現する。
    - d 全学FD・SD方針に基づき、FD・SD活動を進める。  
SD活動を包摂したFD活動を進め、IR活動（IR推進委員会）との連携を密にする。
  - ③ 高大接続改革に対応して新しい入試制度を確定し公表する。

### (3) 学習環境・支援施策

- 「学生を生涯応援する大学になる」というビジョンに基づき、学修支援を進める。
- ① 学修支援・相談体制の充実
    - a 学修支援基本方針を策定する。
    - b 読書運動など、図書館活用（現在1人当り年間貸出し冊数は5冊）を促す学修支援を強化する。
    - c 退学率・除籍率の改善。  
成績不良者について、ゼミにおける指導及び面接等を強化し、平成29年度の退学率（四学年で約10%見込み）比50%減を実現する。
    - d 障がい学生修学支援室をダイバーシティ推進拠点として充実させる。
  - ② キャリア教育の推進  
進路決定率90%以上を実現する。  
学部とキャリアセンターとの連携を強化し、学部キャリア教育科目を充実させる。  
ゼミが必修でない学部のゼミ履修率を上げ、学生の就職活動状況の把握率を向上させる。
  - ③ 「出会いの広場」を新入生への学修支援として位置付けるとともに、補助学生の成長の場としても位置づけ、全学的に進める。
  - ④ 奨学金制度の再構築  
成績優秀者への支給のみならず経済的な困難を抱える学生へのニーズベースの奨学金について検討を開始する。
  - ⑤ インターンシップの学習効果向上  
学生のキャリア形成支援のため、国内、海外を含めたインターンシップのさらな

る学習効果向上に向けた検証を行い、インターンシップ科目カリキュラムの再編成を行う。

#### (4) 社会連携施策

「社会に貢献する大学」になるというビジョンに基づき、参加延人数が年間千名を超える学生ボランティア活動など、学生・教職員の社会貢献活動を推進する。

##### ① アジア自助協力プロジェクトの開始

2020年東京オリンピック・パラリンピック学生ボランティア養成・登録・派遣に取り組み、派遣要請に応える窓口を一本化する。

##### ② 関係自治体（武蔵野市、小金井市、三鷹市、東久留米市、二本松市、日の出町）と締結した包括連携協定を基盤にして、武蔵野市における防災活動、日の出町におけるスポーツ振興活動、東久留米市における児童館ボランティア活動など日常的な連携・協力活動を進める。

#### (5) 大学運営施策

##### ① ガバナンス機能の強化

###### a 新たな学長候補者選出方法による学長選任

新たな学長に関する規程及び学長選任に関する規程に基づき、学長候補者推薦委員会により学長候補者を選出し、理事会の決定により学長を選任する。

###### b コンプライアンス体制の検証

公的研究費の研究活動におけるコンプライアンス関連規程に基づいた活動を実施し、本学園のコンプライアンスの課題を把握する。

##### ② 職員の人事制度・人材育成制度の再構築

###### a 人事制度の再構築

働き方改革への対応を踏まえ、人事制度全般の見直しを図り、人事制度を再構築する。

###### b 人材育成制度の再構築

業務の高度化・多様化等に対応できる人材を育成するため、人材育成制度を再構築する。

##### ③ 広報基本戦略の策定と広報活動の強化

広報活動の実態検証と広報戦略案の策定。

実態調査を含め現状を検証し、本学の強みを活かした戦略案をとりまとめ、広報活動の強化策を策定する。

##### ④ 安定的財政基盤の構築

教育活動収支の改善。

安定的財政基盤の構築のため、既存事業の収支構造の見直しと、業務改革の推進による経常的経費の精査を更に推し進めることにより、教育活動収支の改善を図る。

また、経営課題に資する資料の作成ができる予算編成システムを再構築する。

### 3. 人事

平成30年度の専任職員数は以下のとおりである。

教育職員							事務職員	総合計
経営学部	経済学部	法学部	国際関係学部	都市創造学部	アジア研究所	合計		
45名	24名	31名	33名	19名	5名	157名	147名	304名

### 4. 財務

平成30年度予算は、経常的経費の精査を更に進めた上で、武蔵野キャンパス再開発計画の推進事業と、最終年度を迎える3カ年中期行動計画の具体的取組事業、そして、施設設備の老朽化に伴う取替更新に、重点的に予算計上して編成する。

事業活動収入として93億51百万円を、また、事業活動支出は93億22百万円を計上する。

### 5. 施設・設備

平成30年度の施設・設備関係予算は、合計17億13百万円である。平成30年7月に竣工する新1号館（研究室・事務棟）建築工事のほか、総合研究館インフラ移設工事等の武蔵野キャンパス再開発計画の推進に伴う施設・設備投資を行う。

そして、この武蔵野キャンパス再開発計画に要する資金は、特定資産10億円を取崩し充当する。

#### (1) 新1号館（研究室・事務棟）

平成28年3月着工した新1号館建設工事を行う。

建 物 概 要：地上14階、鉄筋コンクリート造（免震構造）

建築面積1,309.61㎡ 延床面積14,474.17㎡

総 工 費：5,383,800千円

今年度支払額：1,383,800千円

竣 工 予 定：平成30年7月

#### (2) 防災センター移設工事

現在の防災センターを、新1号館1階へ移設する工事を行う。

総事業経費：116,510千円

完 成 予 定：平成30年6月

#### (3) 総合研究館インフラ移設工事

総合研究館の解体前に、既存インフラを移設する工事を行う。

総事業経費：54,540千円

完 成 予 定：平成30年10月

(4) 新1号館インフラ・外構工事

新1号館のインフラ設備の引込みと外構整備工事を行う。

総事業経費：22,410千円

完成予定：平成30年6月

(5) 日の出校地 トレーニングセンターエアコン取替更新

経年27年の老朽化したエアコン取替更新を行う。

総事業経費：20,152千円

着工予定：平成30年6月

(6) 8号館 エアコン取替更新

経年24年の老朽化したエアコン取替更新を行う。

総事業経費：14,040千円

着工予定：平成30年5月

以上